



議会だより

たまかわ

No.170

令和5年
1月26日

12月定例会

主な内容

冬の行事	2
議案審議	3~7
第1回臨時会	8
村政ここがききたい	9~13
議会活動	14
村民の声	16



「俺たちにまかせろ!!!」

～令和5年玉川村二十歳を祝う会～

冬の行事



あけましておめでとう
(認定こども園たまかわクックの森)



何だろうね！？～友達と見る雪～
(認定こども園たまかわクックの森)



なかなかむずかしいね (玉川第一小学校)



パソコンはまかせて (須釜小学校)



村の守りはまかせろ (出初め式)



ガンバッテ！ (玉川中学校)

玉川村議会 ■ 12月定例会 ■

審議議案と各議員の賛否

○は賛成、×は反対 須藤議長は採決に加わらないため空欄
全会一致で賛成の場合は個別の賛否は省略しました。

番号	件名	採決	須藤安	林針	小井	石井	渡邊	小林	大和田	飯島	西川	三瓶	塩澤	須藤利	
議案第55号	玉川村公の施設の指定管理者の指定	可決	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○		
議案第56号	村長等の給与に関する条例の一部を改正する条例	可決	期末手当の支給率を引き上げる改正												
議案第57号	議会議員の議員報酬、期末手当及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例	可決	期末手当の支給率を引き上げる改正												
議案第58号	職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	可決	令和4年度人事院勧告及び福島県人事委員会勧告に準じ、給料表及び勤勉手当、宿日直手当等の改定に伴う改正												
議案第59号	玉川村職員の定年等に関する条例の一部を改正する条例	可決	5ページに記載												
議案第60号	地方公務員法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例	可決	5ページに記載												
議案第61号	職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例	可決	人事院規則の一部改正に伴う、非常勤職員の育児休業取得の柔軟化や育児休業取得回数制限の緩和等の改正												
議案第62号	玉川村農産物加工施設設置条例の一部を改正する条例	可決	5ページに記載												
議案第63号	令和4年度一般会計補正予算（第5号）	可決	6、7ページに記載												
議案第64号	令和4年度介護保険特別会計補正予算（第2号）	可決	歳出で保険給付費を216万円増額し、基金積立金を216万円減額する												
議案第65号	令和4年度上水道事業会計補正予算（第2号）	可決	7ページに記載												
議案第66号	令和4年度農業集落排水事業会計補正予算（第2号）	可決	収益的収入支出それぞれ181万円増額し、予算総額を1億7870万円とする												
議案第67号	道路災害復旧工事（査定第1005号）請負契約の締結	可決	7ページに記載												
請願第5号	竜崎字上代村道電-19号線拡幅整備に関する請願書	採択	14ページに記載												

※読みやすくするため、議案件名を一部省略しています。

議会を傍聴しませんか 12月定例会の傍聴人数8人（令和4年累計傍聴人数66人）

次回の定例会は3月中旬を予定

12月定例会 すべて原案どおり可決

あらまし

玉川村議会12月定例会は、12月9日から13日までの5日間の会期で開催された。今定例会では、条例改正や補正予算などの議案13件、請願1件を審議した。また、一般質問には4名の議員が登壇し、村執行部の考えを質した。

玉川村公の施設の指定管理者の指定

玉川村アーバンスポーツ施設を「一般社団法人サイクルヴィレッジたまかわ」に、玉川村農産物加工施設を「株式会社こぶしの里」に、それぞれ令和5年4月1日から令和10年3月31日まで指定管理者として指定する。

〔質疑〕

須藤議員

農産物加工施設は、年800万円を限度として業務委託する内容だが、指定管理者の契約が成立すれば、現在の会計年度任用職員3名の派遣がなくなるということか。

産業振興課長

指定管理者が指定されれば4月以降は村での任用はなくなる。

須藤議員

現在の業務内容、負荷をしっかりと精査し、800万円に相当する価値のある業務、支出なのかの



こぶしの里 (加工所)

検証と、5年契約となっているが、毎年の損益実績を検証したうえで、毎年委託料の契約をすべきと思いが。

産業振興課長

毎年経営状況等を詳細にわたり判断したうえで、次年度に反映させる。

小針議員

こぶしの里の職員となった場合の給料はどのようなになるのか。

村長

こぶしの里の事務給与体系に移る。

小針議員

こぶしの里の職員になると、本来の加工施設業務以外にこぶしの里業務まで行わなければならないと危惧されるが。

村長

指定管理後は従業員の勤務体制の見直しを行う。

小林議員

アーバンスポーツ施設の指定管理料500万円の支払で得られる費用対効果は何か。

企画政策課長

交流人口等年間3000人を見込んでおり、その点では来村者の増加が費用以上に効果があると思われる。

小林議員

来村者の増加だけで効果があるのか。

企画政策課長

アーバンスポーツ施設に来るのだけでなく、道の駅など周辺の施設の利用も増えることが予想さ

れ、最終的には移住・定住に繋がるものと考えている。



アーバンスポーツ施設

玉川村職員の定年等に関する条例の一部改正



主たる改正は、令和5年4月1日より令和13年3月31日までに、60歳定年から順次65歳に引き上げ、管理監督職務上限年齢制等を導入する。

地方公務員法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例



定年延長等に係る地方公務員法の一部改正に伴う、村関係10条例を改正する。

玉川村農産物加工施設設置条例の一部改正



指定管理者の指定に伴い、規則で定めていた使用料金を条例で規定するよう改正する。

【質疑】

小林議員

村内、村外の加工施設使用者数は。

産業振興課長

令和4年7月末現在で、村内は延べ192名、村外は延べ89名。

小林議員

村内使用者と村外使用者の主な加工品は何か。

産業振興課長

村内使用者は、ジャム・惣菜類。村外使用者は、プリン・ゼリー・パン・菓子類・佃煮等に加工している。

小林議員

それらの加工品は販売に至っているのか。

産業振興課長

村内の方は、一部は独自に販売している物もあるが、ほぼこぶしの里で販売している。村外の方は、一部はこぶしの里で、それ以外は自分の住所地

で販売している。

小林議員

村内・村外に区分した使用料金を条例改正してまで2倍もの差をつけることは不公平ではないか。

産業振興課長

加工施設は、本来村民のための施設との位置づけで設置したものであるが、村外の利用も認められている。条例に定めた使用料金は、あくまでも上限値でありその範囲内で指定管理者が設定できる。

小針議員

指定管理している施設の使用料金の設定をその都度議会にかけるのか。

産業振興課長

使用料は条例で定めるべきものであり、本来の正しい姿に戻すもの。

小針議員

観光交流施設「森の駅ヨッジ」の使用料は議会にかけていないと思われるが。

企画政策課長

観光交流施設「森の駅ヨッジ」の使用料は議会にかけて定めている。

石井議員

会社関係（法人）の使用料金の定めはないが。

産業振興課長

条例上は、個人・法人の区別はしていない。



森の駅yodgeで開催された収穫祭

令和4年度玉川村一般会計補正予算(第5号)



歳入歳出予算にそれぞれ4329万円を追加し、総額をそれぞれ52億150万円とする。

歳入の主なものは、地方交付税3236万円、国庫補助金768万円。

歳出の主なものは、出産・子育て応援事業補助金495万円、国の人事院勧告に伴う人件費の補正及び電気料金の値上げに伴う公共施設における電気料金の補正。

〔質疑〕

小林議員

電気料金の値上げによる補正が4分の1を占めるが、

村有施設の節電対策はどのようにしていくのか。

総務課長

電気料金値上げ前から庁舎内では昼休みの一斉消灯なり、それぞれの施設において努力している。

小林議員

照明のLED化を推進すべきと思うが、公共施設のLED化率は。

総務課長

公の施設は、平均すると23%がLED化している。古い建物だとLEDに交換した後に建て替えが発生することも考えられるため、投資が無駄にならないよう計画的に進めていきたい。

小林議員

暖房・冷房温度も適正な温度が示されているので、表示をするなどして職員に周知すべきと考えるが。

総務課長

暖房・冷房温度についても適正な管理に努めていく。

小林議員

街灯はLED化されているのか。

総務課長

防犯協会が維持管理している防犯灯についてはすべてLED化している。

小林議員

土木費、道路維持費の実設計委託料500万円の内容、必要性は。

地域整備課長

歩道設置が難しい村道I-4号線2500m路側帯のカラー舗装を実施し、歩行者・自転車の安全確保を図る。

小林議員

衛生費、母子衛生費の出産・子育て応援事業補助金495万円の内容は。

健康福祉課長

すべての妊婦、子育て



路側帯のカラー舗装(イメージ)

家庭が安心して出産・子育てができる環境づくりを目的とし、妊娠届出時より必要な支援につながるための面談や相談支援の

充実と、出産育児関連用品購入費用の助成などの経済的支援を一体とした事業。
経済的支援では、妊娠届出時5万円及び出生届出時5万円の計10万円相当を支給する。来年初めを基準日とした実施に当たり、令和4年4月以降に出産した者に対しても遡及適用する経過措置がある。
対象者は、今年4月以降に出産した者及び来年3月末までの出産予定者、さらに今年度妊娠届出された者のうち来年4月以降の出産予定者。



林議員

農林水産業費、産業農地費工事請負費の農地耕作条件改善工事の内容は。

産業振興課長

山小屋地区で実施。補助金の満額交付により、村単独費分を増額する。

林議員

土木費、道路維持費工事請負費の村道維持補修工事の件数と内容は。

地域整備課長

竜崎字和久地内の防護柵（ガードレール）設置、北―26号線の道路法面崩落箇所（南―42号線の路面舗装修繕）の3ヶ所分。

林議員

教育費、給食施設費電気料145万円増額されるが、給食センターに設置の外灯が毎日夜遅くまで点いているので、消灯時間を早めるなど経費を抑制すべきでは。

教育課長

現場を確認したうえで適切に対応したい。

令和4年度玉川村上水道事業会計補正予算（第2号）

取水・送水・配水施設のポンプ動力費300万円及び職員の人件費10万円を増額。

〔質 疑〕

林議員

水道事業費、原水及び浄水費の動力費300万円の内容は。

地域整備課長

取水・送水・配水施設に設置されている動力ポンプに係る電気料金の値上げに伴う補正。

道路災害復旧工事（査定第1005号）請負契約の締結

工事の場所…

村道川―41号線（大字川辺字金波地内）

契約金額…5390万円

契約の相手方…岩合建設

〔質 疑〕

小林議員

工期について、年末年始で休日の多いこの期間で、工期の厳守は大丈夫か。工期に余裕をつける発注を早めにできなかったのか。

地域整備課長

災害査定やその後の事務手続きなどに時間を要したためこの時期と

なった。施工業者とスケジュール管理の徹底により、早期復旧完成に努める。

石井議員

補助率、国・県・村の負担割合はどのくらいか。

地域整備課長

国が60%、県は無し、残りの40%で起債と村単独費で対応。

林議員

かなり大きな落石であるが、処分方法や処分場所は決まっているのか。

地域整備課長

今後施工業者と処理方法や処分方法について協議していく。

林議員

急勾配の地形でかなりの延長があるが、今回は被災した箇所のみ復旧するのか。

地域整備課長

本契約はあくまでも災害復旧工事が認められた箇所のみで、前後の危険な箇所は、起債事業3000万円を活用し施工する。



川辺字金波地内（崩落現場）

玉川村議会

第1回臨時会

第1回臨時会は11月10日に開催され、村から提案された補正予算1件及び教育委員の任命1件を審議し、可決、同意された。

審議議案一覧

全会一致で賛成の場合は個別の賛否は省略しました。

番号	議案名	採決	内容等
議案第53号	令和4年度一般会計補正予算（第4号）	可決	歳入歳出に7,047万円を追加し、予算総額を51億5,821万円とする
議案第54号	玉川村教育委員会委員の任命につき同意を求めること	同意	8ページに記載

教育委員会委員の任命に同意

任期満了となる玉川村教育委員会委員の後任に田母神久美子氏（小高）が全会一致で同意されました。



たもがみ くみこ 田母神 久美子 氏

令和4年度 一般会計補正予算（第4号）

歳入歳出それぞれ7047万円を追加し、予算の総額を51億5821万円とする。

歳出の主なものは、①電気・ガス・食料品等価格高騰緊急支援給付金に係る民生費で3046万円、②農業資材価格等高騰対策継続支援事業等に係る農林水産業費で2335万円、③中小企業工

お詫びと訂正

議会だよりたまかわNo.169号、5ページの「議案名」に誤りがありました。お詫びして、下記のとおり訂正いたします。

(正) 玉川村アーバンスポーツ施設の設置
(誤) 玉川村アーバンスポーツ施設の位置



村政ここがききたい 4人の議員が質問

一般質問とは、議員が村長など執行機関に対し、行政全般にわたる施策の状況や方針などについて説明や報告を求めるもの。

住民を代表しての発言の場であることから、大きな関心と期待を持たれる大事な議員活動でもある。

◇ 須藤 安昭 ……………10

1. マイナンバー交付率向上について
2. 遊水地利活用計画の進捗について
3. 5期目の村長選出馬の所信について

◇ 林 芳子 ……………11

1. 水（上下水道含む）問題について

◇ 石井 清勝 ……………12

1. 移住定住促進について
2. 定年制度について

◇ 塩澤 重男 ……………13

1. 少子・高齢化対策について
2. 農業振興について
3. 物価高騰対策について

村の答えは？





すどうやすあき 須藤安昭 議員

Q マイナンバーカード交付率向上は
A 積極的に丁寧にサポート

問 情報漏洩の危険はないか。
答 カードのICチップ内にはプライバシー性の高い個人情報記録されており、利用に際しても暗証番号が必要となるなど安全に十分対応している。
問 紛失、盗難、暗証番号忘れ、再発行等の対応は。

答 カードの機能停止の手続き、遺失届、盗難届出など交付時に周知している。

暗証番号忘れや再発行についても、役場、行政センター窓口で対応する。

問 交付率に応じた地方交付税、デジタル関連交付金の減額はどのようになるのか。

答 具体的な内容は示されていない。

Q 遊水地利活用計画の進捗は
A 委員会等の設置を検討

問 この一年間の活動内容と、今後の進め方は。
答 4月に3町村長連名で要望書を提出した。早急に国のスケジューリングと方針等を具体的に示すように要望した。地元



若手県一関遊水地 (地役権方式)



須賀川市浜尾遊水地 (全面買取方式)

の要望を聴く組織づくりに着手したと報告があった。村では有効な利活用の調査を行っている。

地域振興につながるよう、委員会等の設置を検討したい。

問 議会では遊水地整備事業玉川村議員協議会を発足させた。村においても、村民、有識者によるワーキングチームで、あるべき姿を描き、国へ

答 要望すべきと思うが、当然のことと思う。

Q 5期目の村長選出馬の所信は
A 後進に道を譲るべく慎重に対応

問 令和5年度の予算編成の基本方針、及び重点施策は。

答 『未来(あす)が輝く村づくり、元気なたまかわ』の実現に向けて、村民のニーズを的確に捉え、メリハリの効いた予算編成をする。重点施策は各課にて予算作成中であるが、コロナ対策、子育て支援事業、住環境の整備、村道中―16、17、南―50の整備、遊水地対応、上水道、集落排水事業等にしっかり取り組む。
問 住民が困っている事柄、各区からの請願への着手計画は。

答 なかなか要望に答えられず申し訳なく思う。国の補助のあるものを選び、更に村単独事業でも年1件はやりたい。今月は予算要求、1月査定の手続きである。

問 5期目の村長選出馬への所信は。

答 後援会と相談し後進に道を譲ることが選択の道であると考えている。

問 少子高齢化、人口減少、遊水地対応等、大変難しい舵取りになると思うが、後継者はどのように考えているか。

答 後継者については、私から後援会に何も話していない。新しい感覚、改革で村政を運営される方が出てくれるかなと思う。

問 いろんな考え方や、能力の持った、特に若い人が、2人も3人も手を挙げて、理想を語ることも、玉川村の活性化につながると思う。村長はどう考えるか。

答 実行力のある、強い精神力のある方が、出てきてくれることを期待している。



はやし よしこ 林 芳子 議員

Q水問題への今後の方向性は A水道未普及地域の解消、補修・点検による施設の長寿命化を図る

問 須釜小学校付近の配水管布設替工事における配水管の布設後経過年数は。
答 昭和47年に布設したもので、今回初めての交換。

問 他に布設替工事箇所は。
答 川辺公民館付近。平成4年に初回布設替し、30年経過したため。

工事費は。総延長は約73・8km。今回工事距離は、195m。工事費は、2912万円。今回の工事でこの路線は、完了。



川辺公民館付近

問 今後どの管に交換する予定か。
答 硬質塩化ビニル管をメインに布設替を行い、ダクタイル鋳鉄管等に交換予定。
問 石綿セメント管が布設されている地域は。
答 道路に布設分は100%交換したが、母畑

丈田ポンプ場く曲木迄の447m分。今後交換する予定は。入れ替えの考えはない。



玉川村上水道丈田ポンプ場

問 村における取水、浄水、送水、配水施設の耐用年数は何年と見ているのか。
答 60年と見ている。

問 30年以上経過しているが次の対策は。
答 建て替える予定はない。計装機器の長寿命化を図りながら当面は、維持補修のみ。

問 それぞれの施設内の掃除は。
答 ポンプ場は週1回(目視)、配水池も目視点

検。3年毎に専門業者が掃除。

問 報告はどのようにしているのか。
答 写真付きの報告書。開示は。要望があればできる。

問 浄化させる薬品使用量の上限はあるか。
答 配水管の末端で、0・1PPM以上1PPM以内。

問 51項目中9項目の水質検査を毎月やっているが、時期的にはいつか、一斉か。
答 各施設毎にやっている。

問 施設の内4ヶ所しているが若干の水位低下が見られる」とあるが東日本大震災後からか、今後の対策、水源改修は。
答 計画取水量の7・8割の汲み上げ。

東日本大震災以前からの傾向。揚水管の洗浄や泥の除去により、深井戸の長寿命化を図る。

問 四辻新田浄水場着工による許可値87m³/日

の賄える世帯数は。

答 69戸。
問 本管からの引込にかかる費用は。
答 給水管、メーターは全額個人負担。村からの補助はない。

問 平成27年からの生活基盤施設耐震化等交付金の交付額は事業費の何割か。
答 交付金交付額は、3分の1。その他財源として企業債の借入、自己資金を活用。

問 遊水地群整備事業による集団移転での上下水道の整備は、どのようになるのか。
答 個別に移転するため、まだ場所が決定していないのでわからない。1人1人の意見を聞きながら対応していく。



遊水地計画地

一般質問



いしきよかつ
石井清勝 議員

Q新たな定住補助金の制定は
A現時点では難しい

問 現行の玉川村移住定住促進補助金交付要綱で（遊水地移転者への補助金の交付は可能か）の質問に対し、村長は（現時点においては合っているかなというふうに思います。）との答弁であった。同要綱第4条第2項

の1号では、所有する住宅が公共事業のため収用され、当該収用に伴い新築住宅を取得した者は交付対象としないものとする」と規定されていることから、今回遊水地事業より家屋移転対象者の全ての方を対象とした新たな定住補助金交付要綱の制定は出来ないか。

答 現時点においては公平性を考慮し、国の補助等への上乗せは難しいものと考えており、引き続き村内に定住を頂けるように一人一人のご意見等をしっかりと寄り添いながら全力で支援して参りたいと考えている。

問 『財界ふくしま』で村長は、当村としては村外に移転されて人口が減少していくのは極力、避けなければならぬ。極力村から出て欲しくない。現在の住居の近くに転移して頂きたいのが

本音であると回答している。議員としても村外への移住による人口減少を危惧しているため、移転者に補助金をお願いしたい。現状では無理だが実際に移転は3年から5年かかるので、村当局は今後考えがあるか。

答 現時点では考えはないが、国の補償の中でなおかつ村としてはしっかりと対象となる世帯へ対応していきたい。



竜崎の住宅地

Q定年後の職員の適材適所は
Aケースバイケースでの判断

問 地方公務員法の改正により、定年の年齢が段階的に引き上げられることになる。本村ではどのような対応をするか。

答 定年年齢を段階的に引き上げ、60歳を迎えた管理職を降任させる役割職の導入とともに60歳を超えた職員の給料月額を7割水準に制定する。また、60歳以降の職員の多様な生き方のニーズに対応するため、本人の希望により短時間勤務

制度を導入する。

問 県では役職定年後は一定の期間現職の補助役として実施しているの、村でも適材適所を見ながら実施できないか。

答 その年度、ポジションも考慮しなければならず、職員数も限られており、いろいろなケースが考えられる。ケースバイケースでの判断となり、同じポジションという考えも当然で考えると現時点では考えている。





しおざわしげお
塩澤重男 議員

Q 少子化対策は A 子育て支援を充実

若人をたまかわに

問 旧須釜中跡地の住宅団地造成の進捗状況は。

答 測量調査を令和5年3月下旬完了を指す。

問 移住・定住の成果と今後の取り組みは。

答 補助金交付により、現在まで、村内外から33件99名が転入転居した。

問 若者を玉川村に呼び戻す施策は。

答 宅地の整備・当該

補助金・誕生祝金・子育て支援給付金の施策。

問 子育てや教育面での支援は。

答 子育て支援・誕生祝金・医療費の無料化。

令和4年度より給食費の助成を実施。令和5年度も継続したい。

問 玉川村に永住する方には宅地を無償で譲渡しては。

答 そのような考えも必要と思う。何年内には住宅を建てるとか総体的に検討が必要。



宅地造成地 人口増を期待

高齢者の足の確保を

問 玉川村の高齢化率は。現在33・1% 2

025年推計は不明。

問 高齢者の交通事故が問題の今、免許返納の環境整備と交通弱者の対策は。

答 タクシー券や乗り合いタクシーの検討はない。

令和5年度の予算でオンラインデマンドバス等の検討をするが実施は未定。



肥料高騰で自己取り

Q 農業資材高騰の支援は A 経費の十分の一を助成

農業資材高騰に危機感

問 令和5年度肥料購入での支援は。

答 令和5年度は予算編成中である。今年度の助成は臨時会で決まったもの。

問 担い手育成の施策は。機械導入等の助成を行っている。

問 転作の成功例は。

答 特に多いものは、飼料用米の40ヘクタール。

問 農地の集積状況は。357件425,792㎡

問 受け皿としての中心的役割を期待される認定農業者の現状は。

答 高齢で更新しない人もいる。現在52名で増加に向け支援していく。新規就農者も認定農業者への移行を支援する。

問 飼料米の今後の見通しは。

答 補助金は今後も継続するが金額は変動する。

問 農業資材等高騰の給付金交付申請書を、すがまプラザやJA窓口には配置できないか。

答 産業振興課一箇所のみで受付。

農業申告内容を審査する。ないときは住民税務課で確認資料を取りよせていただく。

Q 物価高騰の支援は A 5万円の現金支給

物価高騰に悲鳴

問 生活困窮者、低所得者への支援は。

答 令和4年度は「物価高騰対応生活困窮世帯緊急補助事業」で7千円の現金支給。さらに国の支援策として「電気ガス食料品等価格高騰緊急支援給付金事業」で5万円を現金支給する。

問 対象戸数は何戸か、また村の加算はあるのか。

答 435世帯に確認書を送付。村の上乗せはない。

議会活動

10/24㊦ 町村議会議員研修

10月24日、県町村議会議長会主催の研修会が郡山市のビッグパレットふくしまで開催された。

東北大学大学院情報科学研究科准教授の河村和徳氏からは、「町村議会のあり方と今後の議会改革 ウィズコロナを意識して」と題し、新型コロナウイルス感染症感染拡大を受け、年4回の定例会から通年議会への開催方法の検討が進み、更に地方議会のデジタル化への変革も加速しているとの講和があった。



町村議会議員研修

政治ジャーナリストの細川隆三氏からは、「日本政治の行方 ～ズバリ解説！政局の焦点」という内容で、安倍・菅政権の功績や現在の岸田政権における政局の行方についての講演が行われた。

議員研修

11/4㊦ 石川地方町村議会議員研修

11月4日、石川地方町村議会議長会主催の研修会が、石川町の八幡屋で開催された。

講師に福島大学農学群食農学類長 教授の生源寺眞一氏をむかえ、「現代日本の食料・農業・農村（～中山間地域を念頭に～）」と題し、現代日本の食生活の変化、家族経営体から企業・NPO法人による農業参入の加速化、中山間地域における農業・農村が直面している問題等の講演が行われた。

総務産業建設常任委員会

12/9 竜崎区からの請願箇所の調査

総務産業建設常任委員会に付託された請願箇所の調査を行った。当日は、区長さん等からの説明を受け、現地を確認した。調査後、委員会での審議を行い、12月定例会で「採択」した。



請願箇所の現地調査

委員会活動

行政視察

12/7 文京区議会議員行政視察

12月7日、東京都文京区議会 自由民主党・無所属会派10名が、全国初の取組みである「手ぶらキャッシュレス実証事業」の行政視察のため来村され、村企画政策課から、実証事業の説明を受けました。

本会からは、須藤議長・塩澤副議長・飯島議員・大和田議員・石井議員・林議員の6名が出席し、意見交換等を行い、相互交流を図りました。



説明を受ける文京区議



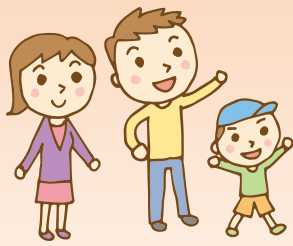
手ぶらキャッシュレスを体験

公立岩瀬病院企業団議会・石川地方生活環境施設組合議会・須賀川地方広域消防組合議会 定例会・臨時会レポート



当村議会から公立岩瀬病院企業団議会へ1名、石川地方生活環境施設組合議会へ3名、須賀川地方広域消防組合議会へ1名、それぞれの議会議員として定例会等へ出席しているよ。今回は9月定例会以降に開催された各議会についての概要をお知らせするね。

- **公立岩瀬病院企業団議会** 1名出席 (大和田 宏議員) **村の負担額855万円**
 令和4年9月定例会／令和4年9月30日開催
 - ・ 令和3年度公立岩瀬病院事業会計資金不足比率 …………… 資金不足額なし
 - ・ 専決処分の承認 (補正予算第1号) …………… 可決
 - ・ 職員の育児休業等に関する条例の一部改正 …………… 可決
 - ・ 令和3年度病院事業会計決算の認定 …………… 認定
- **石川地方生活環境施設組合議会** **村の負担額1億2,774万円**
 3名出席 (小針竹千代議員・林芳子議員・須藤安昭議員)
 令和4年第3回定例会／令和4年12月26日開催
 - ・ 石川地方生活環境施設組合一般廃棄物最終処分場等整備基金条例の制定 …………… 可決
 - ・ 職員の育児休業等に関する条例の一部改正 …………… 可決
 - ・ 職員の定年等に関する条例の一部改正 …………… 可決
 - ・ 地方公務員法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例 …… 可決
 - ・ 職員の給与に関する条例の一部改正 …………… 可決
 - ・ 会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部改正 …………… 可決
 - ・ 令和3年度石川地方生活環境施設組合一般会計歳入歳出決算の認定 …………… 認定
 - ・ 令和4年度石川地方生活環境施設組合一般会計補正予算 (第1号) …………… 可決
- **須賀川地方広域消防組合議会** 1名出席 (西川良英議員) **村の負担額1億3,884万円**
 令和4年10月定例会／令和4年10月27日開催
 - ・ 専決処分の承認 (須賀川地方広域消防組合職員の育児休業等に関する条例の一部改正) … 承認
 - ・ 令和4年度須賀川地方広域消防組合一般会計補正予算 (第2号) …………… 可決



村民の声

Vol.24

玉川村消防団
副団長

せきね かずみ
関根 和美さん



●議会に対して

近年増加している自然災害は想定外の被害が発生しています。

村民の安全・安心を確保する対策を村と連携して進めていただき、安心して住める村、及び立地条件を生かし魅力ある村になるよう、村民の意見を聴きながら進めていただきたいと思います。

●村に対して

人口減少・少子化がこれからの課題になってくると思います。

安心して住める環境を整え、便利のよい住みやすい住宅地の拡大を進めて、移住及び定住を促進し、魅力及び活気ある村になるよう、議会・各種団体・村民と連携して進めていただきたいと思います。

玉川村消防団
南須釜分団長

しまだ くにひさ
島田 邦久さん



●議会に対して

昨今のコロナウイルス感染が収まらないなか、村民の代表として活動していただき誠にありがとうございます。村民の声に耳を傾け、より良い村になるよう、お願いいたします。

●村に対して

消防団員の確保が難しく、また企業や家族の理解も希薄となっているなか、消防団活動に参加する団員の負担が少しでも軽くなるよう、対策していただけるとありがたいです。



希望の虹

コロナに振り回され、また、1年が終わった。コロナとは長いつきあいになる。それでも前に進んでいかなければならない。どのような明日が待っているかはわからない。今こそ、私たち議員は、もっと村民の声を聴き、一丸となって、玉川村の人口が6千人を割らない為の努力をしていく事が、必要不可欠と感じている。

(林 芳子)

あとがき